

414  
A1004



千八百八十年九月十八日刊行「ジャッパン・ウキリ」  
新聞抄譯

讀日本預算書

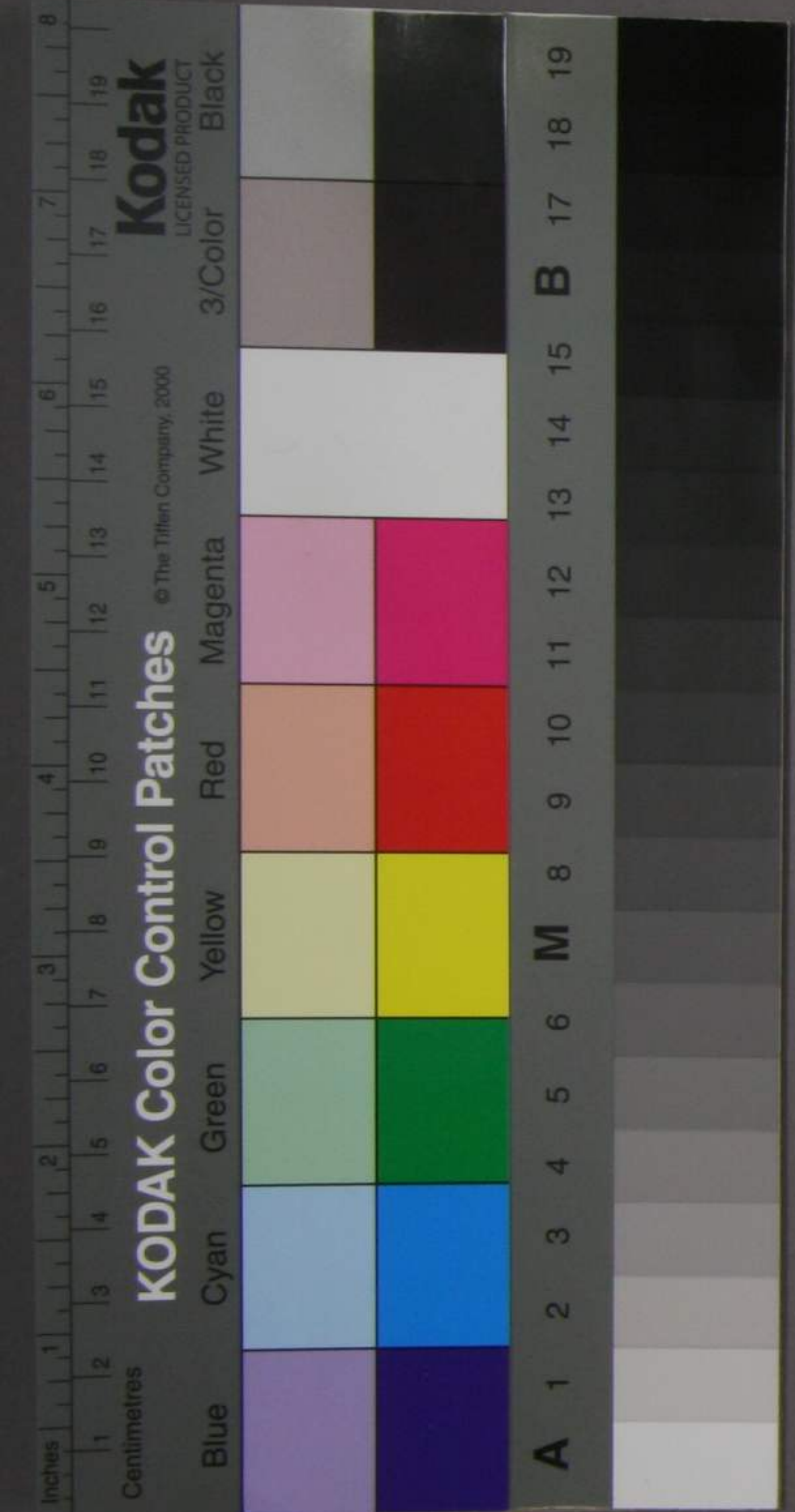
峯源次郎 譯

大正十一年四月  
天正侯爵郵奇贈

余輩今回ノ刊行新紙上ニ於テ日本帝國本年度(本年七月  
一日ニ起リ千八百八十一年六月三十日ニ止マル)ノ預算  
ノ譯文ヲ掲出シタリ右預算書ノ出ツルヤ列年ニ比スレ  
ハ較ヤ遲滞セシト雖モ日本政府ノ言フ所ノ如ク成ルハ  
ノ理財上ノ整備ヲ要スルヲ觀ル時ハ大藏卿報告ノ遲滞  
セシ所以ヲ領解スルニ足レリ  
預算書ノ表面ヲ通觀スルニ歳入預算總額昨年ハ五千九  
百六十五万三千三百七拾九円五錢四厘ナリシニ今年ハ五  
千九百九十三万三千五百七円ナリ此ノ増額ハ殊ニ海關

ワエ

4637



税金 = 借地代ナリ (此ノ借地代ハ日本ニ於テ地稅ト稱セ  
リ然レ氏之レヲ稅ト言フハ非ナリ何トナレハ日本ノ土  
地ハ全ク日本政府ノ所有スルモノナルカ故ニ歐洲各國  
ニ在テハ其所有物ヨリ生スルモノヲ指シテ稅トハ云ハ  
サルナリ) 其他數多ノ科目ニ於テ殊ニ鐵道電信等ニ於テ  
巨多ノ預算額ヲ増加セリ

收入減額ハ九個ノ原因ヨリ来ルヘキ預期ニシテ未ニ科  
目ノ轉移ニ因テ生スヘキ預算ナリ然レ此ノ減額ハ僅ニ  
四十五万四千四拾四ナリ而シテ増算増額四百二十拾八万  
二千百二十拾七円ニ比スレハ誠ニ些少ノモノナリ  
此ノ預算歳出額ハ從前ヨリノ通り歳入預算額ト符合セ  
リ即チ歳出ニ四百二十拾八万二千百二十拾七円ノ増額アリ  
テ歳入ニ又々同額ノ増加アリ此歳出ノ増額ハ殊ニ海軍

省陸軍省ニ於テ兵食等ノ為ニ来ルモノ、如シ大藏卿ノ  
言フ所ニ據レハ陸軍省ノ増額ハ陸軍省輜重局ト合同シ  
タル陸運兵隊ノ編設ニ由テ己ムヲ得ス生セシモノトス  
又々海軍省ニ於ケル来年度増額ノ見込ハ水雷艇等行ノ  
設立ト当今海軍兵事ニ関スル使用品ノ買込巨多ナルト  
ニ原因セリ

談書表中其國債及準備ヲ記スルノ所最モ注意ヲ要スヘ  
レ是レ其本年及去四ケ年間ニ於ケル日本帝國國債ノ状  
況ヲシテ一目瞭然タラシムルモノナリ即チ其國債千八  
百七十九年乃至千八百八十年ニ於テハ三億六千三百三  
十二万七千九百七十四円ナリシニ此年ニ於テハ三億五  
千八百四万七千二百九十四円 (但シ厘ヲ除去ス) ノ預算ナリ  
故ニ五百二十八万六千八百八十三円ノ減額ナリ實ニ慶スヘ

キノ減額ナリ然レモ千八百七十八年乃至千八百七十九年ニ比スレハ猶ホ其減額ノ些少ニシテ言フニ是ラサルヲ覺フ即チ昨年ニ在テハ千七百二十万三千六十五円ノ減額ナルカ故ナリ又々千八百七十七年乃至千八百七十八年ノ會計年度ニ於テハ其國債ハ此年ヨリ多キ一五百万円以上ナリシ蓋シ是西南戦乱ノ為ニ理財上ニ不幸ノ結果ヲ来メセシニ由ルナリ此預算書ニ於テ日本ノ國債全額ハ紙幣其他秩祿公債証券書等一切ヲ合算シテ三億四千七百三万四千五百九十四円ナリ尤モ此中ニ外國債千一百一十二万六千九百九十六円ヲ加フレハ日本國債全額ハ三億九千八百四万七千二百九十円ナリ然ルニ昨年間紙幣ノ減却セシモノ四百七十四万四千七百八十八円ナリ流通ヨリ引上ケタルモノト消滅失セシモノト之レア

リ然リト虽モ紙幣相当ノ價格ニ至ルニハ尚ホ巨額ノ減却アラサルベカラサルナリ抑モ此預算書ハ好果ヲ前途ニ期望スヘキ情状アリ而シテ余輩ノ所見ニ依レハ大藏卿ノ主眼點紙幣ノ減却ニ在ラサルヘカラサルナリ其ノ之レヲ減却スル果シテ如何ノ手段ニ依ルヘキヤ速ニ外國債ヲ起スノ一手段アルノミ蓋シ外國債ヲ募ルノ機ハ今此時ヲ然リトフ如何トナレハ日本ハ随分今日其信用ヲ世上ニ保有スレハ歐洲ニ必ラス金主アルヘシ殊ニ英佛ハ金主トナルノ情ナキニ非サレハ日本ハ便利ノ約束ヲ以テ相当ノ金額ヲ募ルヲ得ルハ疑ヲ容レサルナリ然リ而シテ其募金ヲ以テ紙幣ヲ消却シ發行銀行ノ勢力ヲ掣縮シ正當ノ海關稅ヲ施行シ自餘漸々施政上ニ改良ヲ行ナハハ日本前途將來ニ

於テ隆盛ナカラント欲スルモ得ヘカラサルナリ